

塾からのお知らせ 2025 12月12日

冬休みは、学力を伸ばすにも、差がつくにも最も大切な時期です。
学習塾・英会話教室それぞれの、この冬の取り組みをまとめました。



今回のお知らせの構成

上段 お知らせ（学習塾・英会話教室 共通）

中段 英会話教室からのお知らせ

下段 学習塾のクラス報告と、この冬の必勝作戦

☆冬期講習（小中高生）

今年も恒例の冬期講習を行います。今までの学習で取りこぼしてきた箇所を補いたい人や、苦手箇所を克服したい人は是非参加してください。教科、内容、日程は相談して決めます。高3生は、お正月期間に共通テスト直前対策を行います。詳細は冬期講習の案内をご覧ください。

・日 程

12月中旬から1月中旬の間で12時間

・時間と内容

相談して決めます。



・教 科

小学生 国語 算数 英語 英検対策(宿題も対応します)

中学生 5教科 英検対策

高校生 英・数・国 英検対策



☆中3冬期講習

中3生の皆さんは最後まで諦めず、今年だけは正月も休まず一緒に頑張りましょう！英数の他に理社もやります。講習受講者には正月明けの、学校の実力テスト用の理社課題を出します。志望校判定が出る全県模試も受験します。是非参加してください。詳細は中3冬期講習の案内をご覧ください。

・日 程 12/28(日)～1/3(土) 元旦はお休み

・教 科 英・数・理・社

・1/10(土) 全県模試（予定）



☆年末年始のお休み

12/29(月)～1/6(火) までお正月休みです。新年は1/7(水)からです。

※冬期講習受講者はお正月も授業があります。



☆父兄面談

毎年7月と12月に父兄面談を行っています。生徒さんの塾では見られない一面を知ることが多々あります。面談期間でご都合の悪い方がいらっしゃいましたら期間以外でも対応します。お気軽にお問い合わせください。

☆新入生募集中です

ただいま新入生を募集中です。あなたのお友だちで塾に入りたい方がいたら紹介してください。紹介者には図書券を差し上げます。

☆2025年度第2回英検合格者

2級：2名 準2級：2名 3級：6名 4級：1名
合格おめでとうございます！



🌐 英会話教室からのお知らせ

☆クリスマスウィーク

12/22(月)～12/26(金) こども英語のクラスでは、楽しいパーティーやゲームを準備して皆さんを待っています。

☆第3回英検のご案内（本会場）



- ・申込み締切：12月15日（月）（ネット申し込み）
 - ・1次試験 1月25日（日）
 - ・受験料 1級 12,500円 準1級 10,500円 2級 9,100円 準2級 8,500円
3級 6,900円 4級 4,700円 5級 4,100円
- ※準会場（学校）は締切、受験料、受験日が異なりますので、担当の先生にお尋ねください。

★はじめまして

8月よりデルマー先生に代わり、フィリピン出身のネミー先生とアメリカ出身のアイリス先生が教えています。よろしくお願いいたします。

ネミー先生

こんにちわ。ネミーと申します。湯沢に住んでおり、20年間英語を教えています。今夏からイトンで教え

る機会を与えられて大変感謝しています。私の教育方法は、まず適切な規律を教え、強制せずにルールを守らせること、生徒との良好なコミュニケーションを重視すること、そして愛情と適切な指導を与えることです。教育は貴重なものであり、生徒には英語や他の科目を一生懸命に学び、成功をつかむために努力してほしいと願っています。EIKEN や TOEIC も教えており、学生が明るい未来を実現する手助けをしたいと思います。

アイリス先生

こんにちは！私の名前はアイリス・フリアス・ナオイです。アイリスと呼んでください。今年の夏からイトンで英語を教えることになりました。私はバイリンガルなので、多くの生徒たちが英語学習でぶつかる壁を理解しています。生徒たちが英語で快適にコミュニケーションできるようになってほしいと思います。少しずつ自信をつけて話すことで、新しい英語圏の友達ができるようになります。また、バイリンガルであることには大きなメリットがあります。それは、思考力、集中力、記憶力が向上します。また、バイリンガルではない他の人よりも多くのキャリアの選択肢を持つことにもなります。

☆クラスルームイングリッシュ

ただ今、こども英語のクラスでは「レッスンでクラスルームイングリッシュを全員が分かるようになること」を目標にしています。教室でいろいろな場面で使える英語表現をこども達が自然に使えれば素晴らしいと思います。クラスルームイングリッシュのリストを渡しますので家庭でも練習してください。

☆ローマ字表記が変わります

文部科学省が発表した内容によると、日本のローマ字表記が見直され、「訓令式」から「ヘボン式」に移行するそうです。この見直しにより、より一般的で世界的に通用する表記方法に統一されることになります。これは多くの人にとっては大きな問題にはなりませんが、「訓令式」に慣れ親しんだ方にとっては混乱を招くかもしれません。

例えば、[し：si→shi][じ：zi→ji][ち：ti→chi][ぢ：ji/di→ji][つ：tu→tsu][づ：zu/du→zu][ふ：hu→fu][を：o/wo→o]となり、人名や会社名を書くとき、[辻哲也：Tudi Tetuya→Tsuji Tetsuya]に、[藤島建築：Huzisima Kentiku→Fujishima Kenchiku]と表記されます。

さらに、いくつかの複合母音に影響を与える追加のルールがあります。例えば、[おお：oo→ō][おう：oo→ō]になり、[大野養助：Oono Yousuke→Ōno Y ō suke] になります。

多くの学校ではすでに「ヘボン式」に適用し始めていますが、長年の習慣を忘れるのは難しいと思います。イトンは「ヘボン式」を使用していきますので、ご家庭での練習に役立ててください。

パット

訓令式とヘボン式の表記例		
訓令式		
築地	茶室	福島
つきじ	ちゃしつ	ふくしま
Tukizi	tyasitu	Hukusima
Tsukiji	chashitsu	Fukushima
ヘボン式		

☆小学生の算国コース(思考力、読解力養成コース)お勧めします！

算数の文章題で、問題の意味が理解できずこれ足すの？引くの？かけるの？割るの？や国語の文章問題が分からない、図形で面積や体積が求められない、割合、速さ、道のり、時間が分からない、という小学生のお話をよく聞きます。

算数は計算から始めます（ただ答えが出せれば良いではなく、しっかり過程を書いて解くように教えます）そして中学、高校までの間で小学のうちに覚えておきたい事項をメインに、小学校の進度にあまりとらわれず指導します。もちろん苦手個所の指導もしっかりやります！

国語は読解をメインに、自分で考えて答えを出す、という過程を重視します。現代は YouTube 等、動画の時代で活字に触れる機会が少なくなってきました。時代の流れには逆らえませんが、今のところテストの問題は活字ですし、何かを考えるときは日本語で考えます。考える事を重視したコースです。

★学習塾のクラス報告

と必勝作戦(受験生用)★

●小学生

算数は計算中心、人によっては四則計算でも分数、少数の混じった複雑な計算をやっています。計算の後は図形や、距離、速さ、時間の文章題、等の苦手分野をやっています。

国語は、読解力の養成です。各自のペースで、じっくり読んで答えを出す、問題を解く速さはその次です。まずは、じっくり読んで自分の答えを出すことが大切です。

英語は、文法中心で進めています。中学入学までに動詞(be 動と一般動詞の違い)を習得する、ある程度難しい単語も覚えられるように自分なりの単語の覚え方を小学生のうちに習得してもらいたいです。

●中 1

英語、数学、共に難儀している人が多いです。特に英語は、まずは教科書の英文をスラスラ読めるように練習してください。(教科書の QR コードをスマホやタブレットで読み込むと英文の音読を聞くことができます！)それができたら英文を和訳できるように(口頭でよいです)してください。塾や学校で習った分で構いません。慣れてくると5分もかからずに、できるようになるはずですよ。その状態で塾に来てもらえたら、文法やテスト演習のような、より難しいこともできるようになります。数学は、今までに習った計算(正負、文字式、方程式)が早く正確にできるようになってください。今は比例・反比例を習っていると思いますが計算ができなければ、今後の数学の学習での伸びが期待できません。それくらい計算力は大切です。

●中 2

英語は教科書をスラスラ読める人が多いですが、文法や単語を忘れていることがあるため、しっかりと和訳できないときがあります。単語だけでも良いですから、お家で練習してください。数学は基本的な計算でケアレスミスが目立ちます。そういう時は一題一題に丁寧に取り組み、必ず見直しをすること。量をこなすことも大切です。

2年生も後半になり、そろそろ各自の得意不得意が出てきました。春にかけて基本問題の総復習をしますのて苦手分野の基本的な知識だけでも良いですから、思い出してください。部活動も忙しくなってきますが、受験生になる自覚を持つこと、志望校を早めに決めること、も大切です。

●中 3

夏休み明けから、この時期にかけて英数共に実力テスト演習をやりたい時期ですが、特に数学でテスト演習に入っていない人が多いです。基本問題だけでも良いのですが、できれば実力テストで本番と同じような条件で練習することで、各自がテストのどの部分で点数を取るか？自分なりのテストへの向かい方が見えてくると思います。英語は実力テスト演習をやっていますが、単語のチェックテストは毎回しっかり覚えて、二回目のテストで8割正解！くらいに時間を取って取り組んでください。冬期講習を境に入試問題の過去問演習に入ります。できれば入試本番までに10年分くらいやりたいです。

☆中3用 必勝作戦 2025☆

今年の受験生の傾向を踏まえた “当塾限定・合格戦略”

今年の中3生を見ていると、例年と比べて次の3点が特徴的です。

- ① 数学の基礎計算が不十分なまま演習に入っていない生徒が多い

計算力が弱いと、実力テストの大問1で失点しやすく、得点が安定しません。

- ② 英語は教科書の内容理解に“穴”がある生徒が多い

音読はできていても、単語と文法の定着にバラつきがあり、得点に結びつきにくいケースが見られます。

- ③ 理社は「分野ごとの抜け」が例年より大きい

基本的な知識の定着が圧倒的に足りていません。



以上を踏まえた、当塾の 冬に最も効果の出る “必勝作戦”

- ① 数学：毎日1問、本番形式の問題を解く 難問ではなく「取りこぼしをなくす基本問題の練習」。

・全員→まずは計算 中1～中3までの計算問題を完璧にできるようにすること。

・実力テストの点数が30点～60点の人→塾でやった基本問題のプリントをしっかりと復習する。

冬だけで大問1の得点率が上がります。

・実力テストの点数が60点以上の人→実力テストの過去問を繰り返す

- ② 英語：単語→音読 和訳→文法理解→長文演習 で実力テストの長文問題を攻略

入試の長文は“語彙力×文法力×英文処理の速さ”で決まります。冬で最も伸びるのはこの3点です。

- ③ 理社：今一度、夏期講習の理社の宿題や学校の受験用テキストの基本問題をやり直してください。

- ④ 過去問は、難→標準の逆順で慣らしていく

最初から1年分を通してやらず、「解ける問題を増やす順番」で慣らしましょう。

今年は例年以上に、「冬を制する者が本番を制する」そんな学年だと感じています。

生徒一人ひとりが最高の状態で入試を迎えられるよう、塾としても全力でサポートしていきます。

●高1

高校の学習内容は難しく、問題を1回解いただけでは、なかなか身につけません。成績を上げる一番の方法は、各教科で一冊の問題集を“3周以上”繰り返すことです。なんとなく机に向かっている時間よりも、「どれだけ解き方が身についているか」に注目してみましょう。テスト中に時間が足りなくなったり、中学生のときより成績が振るわなかったりするの、学習量がまだ不十分だからです。問題を一目見て、すぐにペンが動く状態になるまで反復を重ねることで、確実に点数がアップします。勉強に集中し始める生徒が、数名見受けら

れるようになってきました。1年生全員で、勉強する雰囲気作りに取り組みましょう。

1年生のうちから評定を意識して集めておく総合型選抜・学校推薦型選抜・指定校推薦を利用できるようになり、進学先の選択肢が広がります。

●高2

英文の和訳チェックを行っている、2年生の中でも学力差が見え始めています。ただし、志望校は人それぞれなので、授業では“各自必要な学力を身につけること”を目標にしています。受験で結果を出すのは、難問を解ける人よりも、「基本問題を確実に正解できる人」です。みなさんにはそうなるために、共通テスト入試になった今でも、基礎を端的に問うセンター試験英語に取り組んでもらっています。また、今のうちに英単語ノートを自作することが、今後の受験勉強で大きな武器になります。少しずつ進路を意識しながら、日々の学習を積み重ねていきましょう。

●高3

共通テスト直前の今は、とにかく勉強し続けることが安心につながります。入試への不安を感じる時間を減らすほど、本番で集中しやすくなります。センター試験英語は3周目に入り、全員が8~9割以上を取れるようになっています。英文法の力は十分ついているので、自信を持ってください。この時期は、文系は地理歴史公民、理系は生物化学物理などの、暗記科目で得点を上げやすいタイミングです。追い込みは試験前日まで効果があります。また、自分の志望校が「共通テストの得点重視なのか」「二次試験で逆転可能なのか」を把握し、残り時間の使い方を明確にしましょう。いよいよ最終段階です。残された時間を大切にしましょう。

☆高3用 冬の必勝作戦 2025☆

高3生の皆さんにとって、冬は「弱点を最も短期間でつぶせる季節」です。特に共通テストでは“基本問題を確実に切り切る力”が合否を大きく左右します。今年の高3生の傾向を見ると、次のポイントが重要だと感じます。

①英語「英単語帳のスピード周回」

英単語帳の“超基本ステージ”と“基本ステージ”を完璧にしましょう。

【やり方】

1 周目は赤シートで英単語や和訳を隠して、“1秒以内”に思い出せなかったものにバツ印を記入する。

2 周目以降は、バツ印の英単語や和訳のみ、赤シートを使って思い出す練習をする。

1秒以内に思い出せるようになったら、丸印を記入する。(バツ印は消さずに残すこと！)

周回をすればするほど、バツ印が丸印に変わっていき、1周にかかる時間も減って楽になります。

②数学「基礎基本の総復習をする」

数ⅠAと数ⅡBCの両方とも、各大問の[1]を全問正解した上で、自分の得意な大問で点数を集めましょう。

共通テスト本番でもそのようにして、受験生の平均(偏差値50)を上回ることができれば、数学が合計点の足を引っ張ることはないと思います。

各大問の[1]については、教科書に載っている公式に代入するだけの問題が多いのですが、公式そのものや数学の世界のルールを知っているかどうかで、意外にも点数に差がつく箇所になっています。

他の受験生に遅れを取らないために、そしてむしろ他の受験生を引き離すためにも、今一度小問集合プリント

を復習して、基礎知識のおさらいをしましょう。

③ 理科・社会 「過去問の演習と並行して、知識整理ノートを作る」

共通テストはマーク式ですが、過去問を解くとき、ただ番号を選んで答え合わせをするだけでは、演習の効果はほとんど得られません。

「正解の根拠がどこにあるのか」はもちろん、「誤りの選択肢は、どう訂正すれば正解になるのか」まで考える必要があります。

このように取り組み方次第で、過去問 1 年分から得られる知識の量は大きく変わります。

そうして得た知識を自分の言葉でノートに書き留めておくことで、記憶の定着がしやすくなりますし、いつでも見直しができるようになります。

冬は、最小の努力で最大の成果を出せる特別な期間です。

高校生には、ぜひこの時期に「基礎を完璧にする体験」をしてほしいと願っています。